



飯能ロータリークラブ会報

唐竹雪化粧 A coat of snow covers Karatake

© photo by Isao Yoshida

“世界へのプレゼントになろう”

RI会長 K.R.ラビンドラン

2570地区ガバナー 高柳 育行

第3グループ
ガバナー補佐 吉田 譲二

「ロータリーの心を実践しよう」

第2686例会 2016. 2. 10

—— 世界理解月間 ——

天候 晴 (NO. 52-33)

会長 間邊元幸 幹事 土屋 崇

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 細田(伴)君、橋本君

例会場：ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 間邊会長
- ・黙禱 元会員吉島力良様(吉島会員ご尊父)のご逝去に対し黙禱
- ・ソング 我等の生業
- ・ビジター (日高) 清水敬一郎様
- ・卓話 大野 康環境保全委員長

【会長報告】

吉島力良様はS50年度、第12代会長でした。謹んでお悔やみ申し上げます。昨夜は元会員の萩野映明様の通夜。多くの会員のご参列、有難うございました。まだまだ寒い日が続きます。体調には是非気をつけてください。

【幹事報告】

例会後、国際奉仕委員会より、フィンランド旅行についてのお話があります。

◎例会変更のお知らせ

◇所沢RC

- ・2/23(火) 例会振替 2/27 IM
- ・3/8(火) 例会振替 企業見学
- ・3/29(火) 例会振替 3/26・27 地区大会
- ・4/5(火) 例会振替 4/1 花見例会
- ・4/26(火) 例会休会 定款第6条
- ・5/3(火) 例会取止 法定休日

◇狭山中央RC

- ・2/23(火) 家族同伴親睦日帰り旅行に振替河津さくら祭り
- ・3/29(火) 3/26・27 地区大会に振替

◇人間南RC

- ・2/23(火) 例会振替 2/27 IM
- ・3/15(火) 例会取止 (定款6-1-C)
- ・3/22(火) 例会振替 3/26・27 地区大会
- ・3/29(火) 3/28(月) 花見家族例会
八王子「うかい亭」点鐘 18:30

【委員会報告】

- ◎親睦活動委員会 中山君
4/15(金)飯能日高合同親睦ゴルフコンペ、飯能グリーンCC。ご参加ください。
- ◎親睦活動委員会 神田(敬)君
5/14・15 親睦旅行は東北。世界遺産・中尊寺、毛越寺、宮沢賢治記念館、狛鼻溪等、ゆっくり時間をとって散策、余裕のある行動をしたい。「佳松園」は花巻温泉では最古、純和風の旅館。下見もし、より良い旅行になるよう努めます。ご参加よろしくお祈いします。

【出席報告】

前島出席委員長

会員数		当日		前々回修正
全数	対象	出席数	出席率	出席率
56名	6名	44名	78.57%	92.86%

【M U】

2/7 (地区) 杉田君

◎坂本会員(ヘリテージ)より

立体駐車場エレベーターは2/17~25工事のため、階段でのご利用をお願いします。

【結婚・誕生日祝】

市川親睦活動委員

◇入会記念日おめでとう

齋藤君、大附君、馬場君、矢島(高)君、大野(康)君、細田(吉)君、川口君、松下君

◇結婚記念日おめでとう

市川君、大木君、森君、齋藤君

◇会員誕生日おめでとう

5 細田(吉)君、8 増島君、11 細田(伴)君、28 矢島(高)君

◇夫人誕生日おめでとう

1 木川夫人、16 福島夫人、20 細田(吉)夫人、20 川口夫人、22 橋本夫人、24 小川夫人

【SAA報告】馬場副SAA

- ・飯能RCの皆様いつも大変お世話になります。久し振りにMUに参りました。少々遅くなりましたが本年もよろしくお願ひ致します。(日高)会長エレクト：清水敬一郎様
 - ・清水さんようこそ。細田(伴)君、間邊君、和泉君、小川君、土屋(崇)君、馬場君、中里(忠)君、田辺君
 - ・大野先生、卓話よろしくお願ひします。間邊君、和泉君、小川君、土屋(崇)君、馬場君
 - ・入会記念有難うございます。齋藤君、大附君、馬場君、矢島(高)君、大野(康)君、川口君、松下君
 - ・誕生日祝有難うございます。矢島(高)君、細田(伴)君
 - ・妻の誕生日祝有難うございます。橋本君、木川君、小川君、福島君
 - ・結婚記念日祝有難うございます。齋藤君、大木君
 - ・早退 半田君、土屋(良)君、田辺君
- 本日計 53,000 円、累計額 778,022 円。
◎ 17日例会当番は平沼、半田会員です。

【卓 話】

里山環境保全とロータリアン ～飯能市の環境保全を考える～

飯能RC 環境保全委員長 大野 康 会員

2/27(土)環境省主催ミニフォーラム「つなげよう、支えよう森里川海」を配付しました。

「環境が人をつくる」と言われます。しかし「人が環境をつくる」のも真実かなと考えます。勇気をもって一歩前に踏み出し、自分で環境をつくり出す事はロータリアンの得意技ではないかと思ひます。

〔映像併用〕「原市場の森」、土屋(崇)先生のお山も地域ぐるみできれいにさせてもらっています。08年、持ち主が外資だった頃はジャングルでした。市・県に動いて貰い、中学校に山を買って貰った。皆伐した所は2、3年はいいのですが、どんどん藪になり、日陰が無いので草刈りは骨が折れます。木が残っている所は楽です。毎年1年生が「森の授業」で藪を伐り拓きます。ヤマザクラ等は残し細いのは伐る。畑は一年の中で変化しますが、山は何十年という単位でパッチワークのように形を変えたものでした。今はそれがなかなか無くなってしまった。山奥と人家の間には「里山」という緩衝地帯があったが、今は山からダイレクトに人家があるため獣被害が出ている。人が手を加える「里山」が大事かなと思ひます。山の作業は出て来られる人でやりましょうという事で、皆、生き生きとしています。中学生が絡むと小父さん小母さんは喜ぶんですね。今はこんなにきれいになりました。

山間地に何故人は住み続けるのか。私もいろいろ考えています。「景観」は大事だと思ひます。心身共に元気が漲る。共同作業で繋がりが出る事も大きい。

「森林文化都市宣言」は私も大好きで、中学校の「森の授業」にゲストティーチャーとして呼ばれる時には必ず紹介しています。今、お手伝いさせて頂いている「第5次飯能総合振興計画」「水と緑の交流拠点 森林文化都市 はんのう～変える10年! 変わる10年! 飯能市から始まる日本の創生」。ムーミンが飯能市に来るのは朗報ですが、フィンランドの理想郷を無理やり嵌め込むというのは一寸違う。飯能の文化や歴史を踏まえて「森林文化都市宣



言」の原点に立ち返り、そこにムーミンの世界が違和感無く融合するよう工夫すべきではないかとお話しました。ムーミンが来ようが来まいが、飯能市の人達が前に向かって歩いていくにはどうしたら良いか。まちの人にとっても山の人にとっても「飯能市とは」を見つめ直す良いきっかけになっているのではないかと。

萩では小・中学生が皆、観光客に挨拶をするという話を聞きました。「この場所はとてもよいところなのですよ」と地域の皆が心から思っているようであれば外からの人にそういう事は出来ない。そういうところに飯能市が生まれ変わらないといけないのかなという気がします。

「飯能市山間地域振興計画」も少しお手伝いさせて頂いています。「第3次」ともなると「山間地域にいつまでも暮らし続けるための課題解決」等と、「山で暮らしていいよ」というお墨付きをどうしていこうかという話にまでなってしまう。若い世代がまちに出てしまい、山がまちの“お荷物”になる。でも逆に山があるからまちが活気づいたという歴史もある。「どっちが偉い」ではなく、山もまちもあるから成り立っているという飯能の歴史・文化の原点に立ち戻って、そこに自然と調和したムーミンの世界がとけ込めるといいなと思っております。

そこで、一番言いたかったのが、森は森でも「ふくしの森」プランです。少子高齢社会を皆で支える地域づくりを市民・市・社協で目指しています。その4つの柱「知・交・支・安」の中で、「知り合う」ことの第一は「あいさつ」ではないかという話にたどり着きました。「地域であいさつ私から」の標語を市民会議で作成し、この看板を地域で活用していくことになっています。「どこで会ってもやあとやおうよ」というソングもありますが、ロータリーの皆様にも是非協力して頂きたいと思っております。

「私から」積極的に勇気の一步を。「あいさつ」一つ出来なくて地域福祉も何も無いと思うのです。「あいさつ」は会社や地域や家庭を明るくします。全ての人が幸せになる「環境づくり」とは人々が「のめっこくなる環境」の事。ロータリアンは存在そのものが明るく前向きな、飯能市の宝物です。皆さんが声を掛けたというだけで社員も地域の方もホッとするし嬉しいという心が芽生える。当たり前的事としてされているかもしれませんが、もう一回、「地域福祉」「環境保全」の視点で見つめ直すと、その価値もどんどん高まるのではないかとと思ひます。

外国の方がムーミンを見に来られた時、市内の皆がおもてなしの「あいさつ」が出来るような雰囲気になっていけば、と思ひます。この雰囲気醸し出すのは市でも県でも国の仕事でもなく、市民一人一人の自覚です。(外からの人を)「やっかいな人」ではなく「飯能市のためになっている人」なんだなと思えるかどうか。葛藤もあると思うのですが乗り越えていかなければなりません。「環境」を自分達で整えるという事の楽しさ・素晴らしさは、里山の作業をしている人達の姿と一緒に自分の意志で一歩前に出る。「地域であいさつ私から」は「世界へのプレゼントになろう」の原点かなと気付きました。入会10年目、これからも頑張って真面目に生きていこうと思ひました。